

Exchange Program

派遣者：日置智紀

訪問先；Institute for Astronomy, University of Hawaii

Manoa, Honolulu, Hawaii, USA

派遣期間：2008年11月4日-12月26日

こちら側担当者：伊藤洋一

相手側担当者： Alan Tokunaga

目的： ハワイ大学天文研究所にて最先端の研究に参画する

内容：

1. ハワイ大学は、アリゾナ大学と並び、世界の観測天文学のもっとも優れた研究所の一つである。特に、アラン＝トクナガ氏は赤外線天文学の大家である。滞在の間に以下を行い、最先端の研究に直に触れることができた。なお、申請は1ヶ月であったが、日置の科研費を併せて使うことにより、滞在期間を2ヶ月に伸ばした。

A. 世界最良の観測サイトであるハワイマウナケア山頂には、数多くの望遠鏡が存在する。日置は、すばる望遠鏡や英国赤外線望遠鏡による観測を、滞在中に10日近く行い、数多くの良質なデータを取得することができた。

B. マノアの天文研究所に滞在する間には、トクナガ氏に多大な時間を割いてもらい、日置がこれまでに行ってきた研究について、議論を行った。その結果、若干滞っていた研究を大きく推進することができ、XZ Tauに関する論文を日本天文学会欧文報告誌 (PASJ)に投稿した。

以上の体験により、ハワイ大学天文研究所への学生の派遣は、学生にとって大きなメリットがあることが確認できた。2009年度には、太陽系小天体の大御所である David Jewitt 氏への院生の派遣を検討したい。